

子山ホーム だより

第96号

安全委員会10周年

アクリルライトに書いた夢を照らしてみました☆



子山で暴力等をしまくってたのは、人の気持ちを理解できないから、人の話を受け入れられなかったことが原因だと思えます。子山から生実へ行くことになった時、まず始めに感じたことは住む環境が変わることへの不安でした。その後、それを理解できず、自分のしたことへの重大さが理解できていなかったことが理由だと思えます。

今の子山の子に伝えたいことは、自分のやったことの責任は自分で取れ、取れないやります。暴力をやめられたのはやっぱり優しさです。仲の良い友達とかができたなら暴力とかなくなると思います。たぶん。

高3 Y・Hくん

Y君は5年生の時に子山ホームに来ました。その頃、子どもや職員への暴力。学校でもクラスの子が学校に行きたくないと思わせるほどのいじわる。人ってこんだけいじわるになれるんだ!と思わせるほど。話をすれば全く伝わらず「これは暴力だよ」と言っても「こんなの暴力じゃない」「たいたしたことない」と言い放つ。暴力がどうしていけないのか、傷つけられた人の気持ちが全く分からない。伝わらない。あ…このままではY君は犯罪者になってしまう。犯罪者にはいけない。そう思いました。児相さんの判断もあり、生実学校に行くことになりました。月に一度Y君に面会に行きました。生実さんに行つてからは、規則正しく、良く食べ、良く寝て、身体も大きくなりました。自分の課題にも向き合えました。「暴力はしてはいけないこと」とわかったようです。高校入学で子山ホームに戻ってきました。戻ってからY君は暴力はしていません。

Y君は今も、ずずらんホームと一緒に生活をしています。今Y君との関係はよくありません。夏休み、朝は起きない、自分勝手に生活して、スマホが止まっている時だけ「ヤママ、ちゃんとやるから、スマホどうにか使えるようにして」と言ってきます。でも、スマホが使えるとやりません。そんなY君にイライラして、文句の一つ、いいえ!10も100も言っています。そんなときY君は「ヤママは、俺が頑張っていること一つも褒めてくれないじゃないか」と言いました。へふぎけるなよ!V言葉は悪いですが、そう思いました。何よりも、暴力をしないで学校に行けるようになって頑張っている姿を私が認めてないわけありません。悲しい気持ちになりました。そんな気持ちさえも伝ってないんだな!と思いつつこの場を借りて伝えさせてもらいたいと思います。

「暴力をしなくなつて、ちょっとだけ人の気持ちもわかるようになって、本当に頑張ってます」そして、Y君に暴力を振るわれて安心して生活できなかったのに、ずずらんのメンバーが今も一緒に生活してくれていることに本当に感謝です。ありがとう。

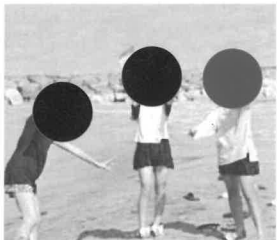
ずずらんホーム担当 山田 洋子

8/5 中高生BBQ



今年にはキャンプの代わりに夏の思い出行事として中高生で海に行き、BBQを行いました。こちらまで嬉しくなるくらい子ども達が喜んでくれてよかったです。特に中高生が主体的に準備をしている姿を見てさすがだなと感じました。

児童指導員 若林 越磨



ここに来て初めてのバーベキューでめっちゃ楽しい思い出も出来ました。あと花火も少しやりたかったです。

中3 H・Aくん

中3 R・Mくん

海は楽しかったし、花火も楽しかったし、バーベキューは焼きそばとフランクがおいしかったです！またやりたいです！

中1 H・Kさん

海とバーベキューたのしかったです、もう少し花火をやりたかったです。

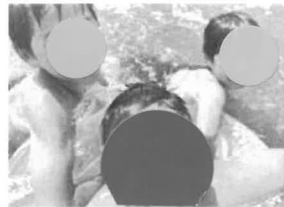
中2 N・Kさん

8/1 小学生BBQ



今年にはキャンプではなかったものの海などに行き、子どもたちはみんな楽しんでたと思います！BBQや花火もみんな楽しんでくれました！来年以降もみんなが楽しく思い出に残るよう頑張りたいと思います！

児童指導員 高橋 茹生



きょうははなびがたのしかったです、うみでなげられてたのしかったです。

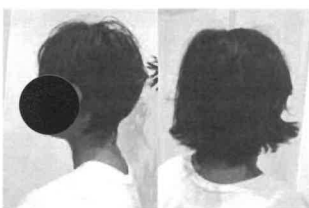
1年 K・Sくん

6年 S・Kくん

みなさんバーベキューでやけどはしませんでしたか？つぎもやけどをしないようにしましょう。うみにいったときはとても楽しかったです、また行きたいです。

5年 Y・Sくん

7/30 美容体験「EARTH」



慣れない美容室で子ども達は緊張していました、どんな風になるのだろうとワクワクしていました。カット後は照れくさそうにしてましたが皆とても満足している姿が見られました。メイク体験もする事ができ、メイク体験を機に自分でメイクをするようになった子もいてとても良い体験になったと思います！また、美容体験だけでなくボーリングにも行くことができ最高の一日になりました。ありがとうございました。

保育士 小澤 ころこ



8/4 一宮学園お祭り招待

一宮学園さんのお祭りに参加しました。ご飯や飲み物、かき氷、トランプリン、ヴァイオリンの演奏など全て回りきれないのでは！？と思うほど、たくさんのご用意があり驚きました。大人も子どももしばらく余韻に浸るほど楽しく過ごさせていただきました、ありがとうございました。

保育士 羽賀 有紀

保育士 遠藤 あや

8/25 プロ野球招待

8月25日、読売光と愛の事業団の北沢様のご厚意により、子山ホームの子ども達15名が東京ドームで開催された、読売ジャイアンツ対中日ドラゴンズの試合にご招待いただきました。

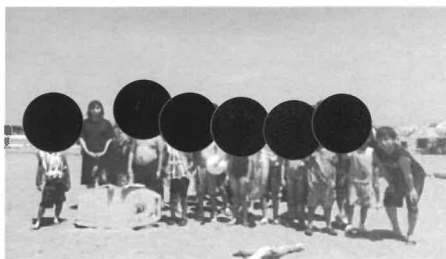
常日頃からホームや学校で野球に慣れ親しんでいる子どもたちは、行きのマイクروبスの中から野球談議に花が咲き、野球観戦自体初めてという子も東京の街並みをパシャパシャ写真を撮りながら非日常を楽しんでいました。卵型の球場とジェットコースター、そして訪れる人の多さに皆で驚きいざ球場内へ！

用意していただいたお弁当にパクつきながらグラウンドの選手達を見つめる子どもたちの顔はドームのLED照明に照らされ

キラキラと輝いていました。試合は緊迫した投手戦にジャイアンツ坂本選手が一振り決着をつけました。吉田園長も子どもたちも思わずバンザイ(〇〇) 私は、後ろの席のおじいさんが振り回すタオルが頭にヒットするのに耐え、ラッキーセブンの「燃えよドラゴンズ」を熱唱するのものとこらえたのです。子山ホームを離れてしばらく経ちましたが、子どもたちの幸せそうな笑顔に触れられたことが本当に嬉しかったです。このような機会を作ってくださいました。光と愛の事業団様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

聖愛乳児園副園長
藤巻 学 (元子山ホーム職員)

8/3 マームジャパン



毎年来ていただいて、楽しく子ども達と遊んで下さりありがとうございます。今年は様々な遊び道具を準備してくださり、子ども達も楽しく遊んでいました。また来年も楽しい時間を一緒に出来ればありがたいです。

児童指導員 和田 直樹

7/27 DOORプロジェクト



7月27日(土) 東京豊島区にある「みらい館大明」というイベント会場で、東京藝術大学 DOOR プロジェクトによるイベントがありました。

DOORプロジェクトとはもう3年の付き合いで、児童福祉に関する情報を、アートと融合させて世間に発信するという活動を続けていく方々です。

今回のイベントでは、子どもたちと一緒に作ったお面を展示したり、子山ホームでの子どもたちの表情を素敵な動画にして流してくれたりと、子どもたちが主役として輝いていました。

子どもたちが楽しめるワークショップもあって、みんな大満足な一日でした。

職業指導員

池口 豊

8/18 あしながプロジェクト

今回で4回目の開催になります。前回の森遊び場作り計画の続きをと思いましたがこの猛暑で断念!!代わりに大原海水浴場をゴールに目指し道中のゴミ拾いをして海水浴をしよう計画しました。

当日は台風の影響で海での遊びは出来ませんでした。曇天でゴミ拾いもスムーズにでき無事にゴールが出来ました!

いつも感じる事ですがあまりゴミを見かけることもなく地域のみなさんがとてもきれいにされているのだと感じました。ビーチでもゴミ拾いをしましたがとても綺麗で海水浴シーズンなのにこの綺麗さは地元の方、サーファーの方、ライフセーバーの方々の意識だと思いました。やっぱり綺麗な方が気持ちが良いですね!!この活動を通してすみ市だけではなく千葉県、日本、世界と子ども達と綺麗にして行きたいと思えます!

統括主任兼 FSW 木村 健司

お仕事体験

ブリッジフォースマイルさんの協力でこの夏はホテルの接客業のお仕事体験を中学2年生の女の子が行いました。会場までも電車を使い自力で行ったので1日を通していい経験になったと思います。また、高校3年生向けの生活応援プロジェクトではグループ討議に子どもたちが積極的に参加してくれ、担当の職員さんからは褒めの言葉をいただきました。3年生にはプロジェクトを通して卒業への準備をその調子でしっかり行なって欲しいと思います。

指導員 落合 琉太

千児協球技大会

卓球



あまり練習を行うことができず参加することになってしまい子供達に申し訳ない気持ちでしたが、みんな楽しく全力で卓球をしており元気づけられました！また、負けて悔しく泣いている子もおり来年は勝たしたいと思いました。

児童指導員 新戸 倫希

卓球大会を終えて、一日しか練習出来ない中で準優勝とれてよかった、だけど優勝したい気持ちもありましたが相手が卓球部ですごく強かったです。卓球大会で準優勝できて悔しいのでマラソン大会優勝するので応援をお願いします。

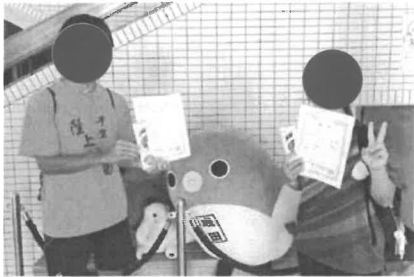
高2 R・Tくん

卓球大会で準優勝ができてうれしかったです。今まで1位だった人に勝つことが出来て良かったです。だけど、昨年の決勝トーナメントで負けた人に負けてしまったから、来年こそは勝ちたいです。

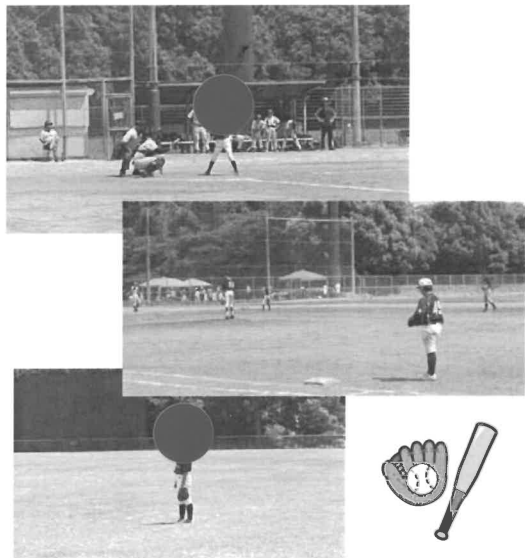
中3 H・Tさん

がんばって4位をとれてうれしかったです、つぎは1位をめざしてがんばります。

小4 A・Aくん



中高生野球



今年も中高生を中心に小学校高学年の子達も一緒に大会に参加しました。事前の練習から猛暑の中、野球経験者を中心に初めての野球をする子もフォローしながら一生懸命にボールを追いかけました。大会では、残念ながら勝利には繋がりましたが子ども、職員がお互いに声をかけ合い素晴らしい試合が出来たと思います。私も重い体を懸命に動かし、子ども達と一緒に汗を流せて良い思い出になりました！来年こそは優勝旗を持って帰りたいと思います！

保育士 大竹 貴博

千児協野球でピッチャーをやりました。ピッチャーをやるのは初めてだったので大変でした。遅いボールでストライクを入れるのが大変でした。一番大変だったのは暑い中投げることにしました。アウトをとれて良かったです。

中3 H・H

小学生ソフト



優勝おめでとう！日々の練習を継続してきたからこそ手にできた優勝です。暑い中でも、寒い中でも子どもたちは一所懸命でした！お疲れ様でした！

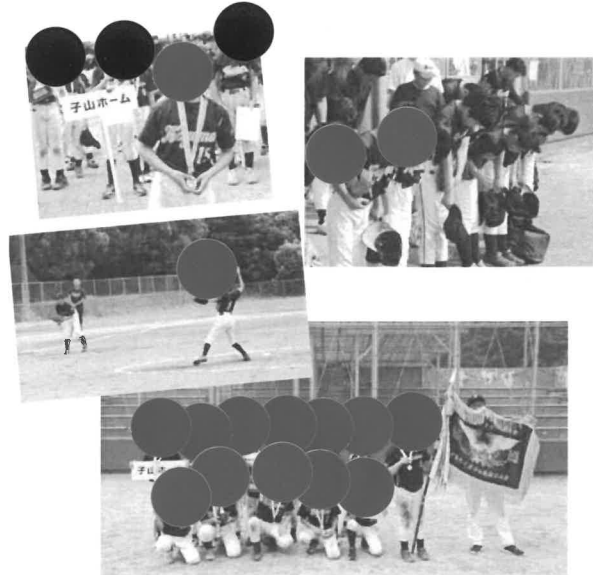
児童指導員 菅野 穰

千児協ソフトでMVPを取りました！良いピッチングをしたからです。三振をいっぱい取って嬉しかったです。それと、子山ソフトが優勝できて嬉しかったです。

小3 M・T

キャプテンとして6年最後のソフトで大会とかあまりなかったけど、監督とみんなで目標をもって千児協ソフト頑張った。勝ててよかったし、協力できてよかった。

小6 S・K



5月 ウォークラリー

ソニー生命&打ち上げ



子山ホームと我々ソニー生命が関わりを持つようになって今年で11年目になります。ホームで過ごす子供たちも基本的には18歳を過ぎると、進学や就職とそれぞれの道へ巣立っていきます。活動のスタートから目指してきたのは、そんな彼女たちの親代わりまで出来ないまでも、困った時や迷った時に話を聞いてあげ、アドバイスできる、そんな存在です。

とはいえ、いきなり見ず知らずのおじさん達に彼女たちが心を開いて頼りにしてくるはずはありません。まずはお互いの存在を知り、お互いの顔を覚え、できるだけ多くの時間を共有する活動を続けてきました。今では年間の恒例行事として、ウォークラリーやバーベキュー&花火、クリスマス会などで交流を行っています。

そして本来の目的である、子山ホームを巣立っていく彼らへのサポートの準備段階として、主に高校生向けのお金の授業やライフプランニング体験の時間を増やす方向へシフトしています。また、「ふるさと便」と称して卒園生へ食材やお菓子を届ける活動も継続しています。それをきっかけに卒園生からの SOS をキャッチできたケースもあります。

これからも園での活動、卒園生への活動を通じてお互いに成長できる関係が続けていけたら、と思っています。

ソニー生命保険株式会社
千葉LPC第5支社 麻生和孝

ウォークラリーに参加してみんな歩くの大変そうだった。天気も良くて暑かったけど頑張った。
小3 Y・W

たくさん歩いたのが楽しかった。JRに乗ったのが初めてで楽しかった。山でごはん食べた。
小1 K・S

おにぎり作った。鮭とたらこ。山の上で食べた。いっぱい歩いて楽しかった。電車で立って乗るのがキツかった。
小4 M・K

おにぎり作りと歩くの大変だったけど楽しかった。梅干し入ったやつ2個作ってた。お兄さん2人と自分とぐつちとひよりと歩いた。
小3 M・T

ふるさと便



歩くのが大変だったけど、おにぎりがおいしかった。あと、クイズが難しかった。
小5 R・S

歩くのが大変でした。クイズが楽しかったです。
小3 Y・S

ウォークラリーに参加してみても楽しかったです。楽しかったことは、問題とかメキシコ棟まで歩くのです。メキシコ棟は高くてメキシコ棟まで歩いて足が痛くなったりして4番の問題が難しかったりした。出発前におにぎり作って楽しかったです。
小5 Y・M

ウォークラリークイズ

御宿駅から国道128号線に出るまでのヤシの木は何本生えている？
最初に渡る川と橋の名前は？
御宿町と言ったら童謡「月の砂漠」この曲の作詞作曲は？
岩和田漁港の防波堤に描かれている巨大な生き物は何と何？
メキシコ塔の真下にある大学の運動公園駐車場。この大学の名前は？
他にも計25問出題しました。

8月子山ホームの打ち上げ



9/8 大多喜ロータリークラブ招待

9月8日、大多喜ロータリークラブの山本様から東京国立博物館で開催されていた特別展「神護寺—空海と真言密教のはじまり—」に招待を受け、国宝「薬師如来立像」等を観覧しました。いつも元気に園庭を走り回っている子山っ子。この日に限っては、大人しく、行儀正しい子ども達。お話ししていると唇に人差し指を当てて「静かに」のポーズ。ちょっとほっこりしました。初めて訪れる広大な敷地に、いくつもの展示建物が並び東京国立博物館。歴史的貴重な貯蔵品を見て子ども達も勉強になったかな。その後余った時間を使ってお隣の上野動物園にも行きました。素敵なお一日となりました。

事務長 是枝 満秋



9/7 アズーロジャパン

9月7日(土) 東京タワーにほど近い場所にオフィス構えるアズーロジャパンさんにお邪魔してきました。海運業を営む会社で、子どもたちに海のお仕事を知ってもらいたいということで今回の招待をいただきました。まず子どもたちは東京タワーを間近に見てビックリ！そしてオフィスの紹介をしたら動画で海の仕事の紹介をしてもらって、その後大きな画面の船の運転シミュレーターを体験しました。ゲーム感覚で楽しめるもので子どもたちも大興奮。この日は午前中に山下公園に停泊してある氷川丸の見学もして、船を体験した一日となりました。

職業指導員 池口 豊



子山ホーム後援会主催 バザー

清秋の候、ますます清栄のこととお慶び申し上げます。平素は子山ホームやその他の関係施設へのご高配を賜り厚く御礼申し上げます。去る10月13日(土)に行なわれましたバザーですが皆様のご支援、ご協力により大盛況のうちに終了することが出来ました。子山ホーム・聖愛乳児園、合計で255,269円の収益となりました。子ども達が日々笑顔で健やかに前進できますよう、また、卒園生の自立支援資金として、おこころざしを有効活用させていただきます。今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。お礼に返させていただきます。



若林さん退職あいさつ



児童指導員 若林 越磨

7年半子山ホームでお世話になり、この度転職させて頂くことになりました。至らない点も多い私が8年弱の仕事に就けたのは同僚に支えられ、許されながら、補っていただけであらうと。自標にしたい先輩に囲まれた良いところを受け継ぎながら可愛い後輩にも恵まれ、なんとかやってこられました。何より辛い時に救ってくれたのは子ども達の言葉や笑顔であり、子どもとも共に過ぎも成長しながら実りのある8年間を過ごさせて頂きました。子ども達に何をさせてあげられたのか自信はありませんが、そんな私でも別れを惜しんでくれる言葉をたくさん頂き感謝しかありません。家庭の事情で退職致しますが、これからも児童養護には携わっていききたいと思っております。私を支えてくださった子山ホーム、またその子山ホームを支えてくださった皆様様に感謝と共に8年間の締めくくりとさせていただきます。

寄付

皆様からの温かいご支援に心より感謝申し上げます！



- 門司一徹 様
- (株)シズキの井上静樹 様
- H 様
- TOCAR FOOTBALL 協会理事の小林道和 様
- いすみ市のヒグチ 様
- いすみ市の平建設 様
- えもり 様
- コストコ千葉 ニュータウン倉庫店 様
- たけみや 様
- チュチュアンナ 1%クラブ 様
- テスタ 様
- 株式会社 ZOZO 様
- 巨人の星 様
- 高橋昇 様
- 松戸市の佐藤 様
- 仙台のゆゆっぺ 様
- 千葉市の水島 様
- 卒園生の佑佳さん
- 八街の細谷農園 様
- 岬町の大多和 様

この度子山ホームバザーを開催にあたり、この他にもたくさんのご寄付を頂きました。ご協力、ご支援ありがとうございました。

2023年度 子山ホーム会計報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

収入の部 (単位:円)		支出の部 (単位:円)	
措置費収入	332,169,783	人件費支出	241,442,217
その他の事業収入	6,007,333	事業費支出	65,496,695
経常経費寄付金収入	1,902,041	事務費支出	44,644,060
受取利息配当金収入	58	その他の支出	4,265,600
その他の収入	13,063,857	固定資産取得支出	2,464,800
積立資産取崩収入	8,111,375	積立資産支出	2,565,125
事業区分間繰入金収入	386,052	拠点区分間繰入金支出	700,000
当期資金収支差額合計	62,002		
前期末支払資金残高	23,352,314		
当期末支払資金残高	23,414,316		

2023年度 子山ホーム後援会決算報告

(単位:円)

摘要	金額	備考	摘要	金額	備考
前年度繰越金	4,183,204	卒園生生活困窮支援積立金	ミルキーズ活動支援資金	147,500	
後援会費	1,913,104		茂原 SBC 活動支援資金	55,500	
卒園生寄付金	54,292		卒園生自立支援資金	200,000	
バザー収益	117,780		お墓名前彫	49,720	
利息	30		卒園生生活困窮支援金	1,707,696	
	172,102		会議費	3,151	
	6,268,410		冠婚葬祭費	30,000	
			バザー準備金	3,942	
			卒園生生活困窮支援積立金	4,068,701	
			振込み手数料	2,200	
			計	6,268,410	

2023年度 決算報告

収入済額	6,268,410
支出済額	6,268,410
計	0

子山ホーム後援会の皆様へ

子山ホーム園長 吉田 正浩

いつも子山ホームに対してのご支援(後援会費へのご協力等)ご協力等を賜ります事、心より感謝いたします。ありがとうございます。以下、後援会・会員活動報告及び活動計画をご報告いたします。

1. 2023(令和5)年度の後援会・会員の活動報告

2023(令和5)年度5月8日より新型コロナウイルスも5類へ移行されました。これにより季節性インフルエンザと同じ扱いになったと言う事で、怖い病気に変わりはありませんが、生活を支援する私たち職員にとって気持ちに余裕が生まれたことは大きなことであります。

令和5年度の大きな変化として、住み込み制から宿直制へ移行したことです。これは昭和24(1949)年、開設以来74年の歴史の中で子山ホームにおける大きな変換でした。宿直制に移行すること等に関しては、労働基準監督署が入って以降、嫌でも拍車がかかりました。働きやすい職場への移行・働き方改革等、時代の流れに逆らえないもの、今後の子山ホームの在り方を考えた上では変化に順応せざるを得ない、自然な流れでもありました。しかし住み込み制から宿直制へ移行する事においては、子ども達との関係性が薄れてしまわない様にと心配してくださるOBの声があったのは事実でした。

子ども達の生活の中で、大きな怪我や措置解除に至る様な案件が出てしまいました。

緊急全体会として年度内に4回行い子ども達の生活を見守るための話しや、必要に応じて措置変更に関する話しを出来る範囲内で説明を行いました。

卒園生アフターフォローにおいて、男子A専門学校を1年目の5月以降から登校せず中退に至りました。ホームで諸々の手続きや話し合い、また借金を肩代わりすることになりました。特定の職員とのみ連絡がとれる状態です。男子B・男子C会社への借金保証人となりました。男子D大学中退に伴い就職先の斡旋をし、採用に至りました。

女子E短大継続支援、最終的に残念ながら退学となってしまいました。女子F独立立ちの為に生活支援を行っています。男子G生活立て直しの為、子山ホームでの生活支援、継続中。男子B新型コロナウイルス後遺症の為、子山ホームにて療養、生活をしております。その他男子H、女子I児童養護施設退所児童自立支援資金貸付の面接や書類作成の援助等行いました。ソニー生命さんと共同での卒園生へのふるさと便(食料品)20名位年間二回発送しています。また卒園生の結婚お祝い金(1人につき1回限定)を贈呈することを確認し、実行しました(令和5年度1名へ贈呈)。更に卒園生の遺骨の納骨を行いました。

また卒園生Jさんによる子山ホームへの沢山の寄付やバザーのお手伝いをして頂きました。

その他、地域活動として女子ソフトボール・ミルキーズ(女子チーム)活動費の援助等を行いました。茂原SBC(男子ソフトボール)令和5年度は子山ホームの一部が茂原市のチームとして登録・活動・活躍しました。そのための活動費や関東大会出場のための宿泊費の援助を行いました。

- ・中学生携帯電話4台不足分の購入をしました(令和5年度時点:合計16台)。
- ・下のグラウンドのフェンスの工事をしました。
- ・3年振りに開催した後援会主催子山ホームバザーが初めて子山ホームの敷地内で行われました。
- ・来年度(令和6年度)に向けた分園ホーム1つの削減と定員の削減を検討し、理事会にて条件付きで了承され、県庁・各児童相談所への理解を求めするために説明をして認めてもらいました。
- ・春のホーム旅行が実施されました。
- ・一部会員の方の高額なご寄付により卒園生への対応全般に使用させて頂きました。
- ・一部会員の方の高額なご寄付により集会室への沢山の本の寄付とオリジナルの本棚の作成が出来ました。
- ・房総信用金庫ピーターバン活動のご寄付を使用させて頂き多目的ホールにオリジナルの本棚を作成しました。

2. 2025(令和6)年度の後援会・会員の活動計画

- ・子ども達の安全・安心な生活を見守ると言う視点から1階の宿直室改修工事やテラスの改修工事に対しての一部資金援助をして頂く。
- ・お花に囲まれる暮らしへの支援は継続して行きたい。
- ・子山ホームバザーの支援をお願いしています。
- ・子ども達が毎年楽しみにしている、春のホーム旅行実施に向けた援助をお願いします。
- ・子ども達の個性を伸ばす様々な活動の援助をお願いします。
- ・卒園生へのアフターフォロー(職業指導員を中心に)の充実力を入れます。
- ・その他、都度必要とされる援助依頼をお願いします。

●チャリティーコーナー

敬称略、順不同 (令和6年6月1日～令和6年10月15日)

個人				団体	
藍野 悦子	葛西美喜代	長谷川 和泉	伸治	子山ホーム後援会	株式会社フレーベル館
松崎 宣哉	千葉 和生	廣田 芳子	出島 康人	大美屋	コストコ千葉ニュータウン倉庫
渡辺 弓子	古屋 仁美	土屋 高志	荒井ふみ子	土屋鍾文堂	キャメルゴルフリゾート
大橋 隆夫	新山ふじ子	本谷 直美	井上 静樹	ENASA KIKUYA	マームジャパン
小宮山弘美	田上	関	山下 弘	株式会社チュチュアンナ	さんむ野菜ネットワーク
岸本 照美	渡邊 紀子	堀米 俊雄	高橋 昇	ハッピードーナッツ	丸昇建設
大槻	椎名 真弓	吉田	祐佳	手作り雑貨アルージュ	株式会社シズキ
田辺 花歩	江森 康孝	小林 道和	不動	株式会社 徳倉	(有)港和防災設備
村松 千春	山田 昭子	巨人の星		TOCAR FOOT BALL 協会	株式会社シズキ
牧野 寛目	柴田 敬道	村松		大多喜ロータリークラブ	株式会社 ZOZO
鈴木もと子	えもり	匿名希望		あしながプロジェクト	平建設
佐藤 大輔	門司 一徹	武宮三千雄		みのりの会	細谷農園
たかはらひろみ	水島	坂東きみ子		JUROBEI	フィリップモリスジャパン
大多和	山本 俊一	水島 一成		ソニー生命	
樋口	藍野 常司	市原 浩一		福田農園	
石井 宏美	左草 哲	木本 秀吉		三信自動車	
長谷川政二	中西 昭満	鈴木 昭子		合同会社 TAKKUN ファーム	
金城	ゆゆっぺ	松ヶ谷 隆		細谷農園	

ボランティアの方々 (敬称略) ※令和6年6月1日から令和6年10月15日までの間で活動していただいた方々です。

- ・ソニー生命
- ・東京藝大 DOOR プロジェクトの皆様
- ・株式会社ベストサポート
- ・NPO 法人ブリッジフォースマイル
- ・読売光と愛の事業団：北沢
- ・聖愛乳児園
- ・NPO 法人アニマルセラピー with ワン
- ・EARTH
- ・赤井 桃佳
- ・千葉県生涯大学校 OB：みのりの会
- ・外房経済新聞 (宣伝協力)
- ・鈴木 美香
- ・床屋：ヘヤークラブヤノ
- ・特定非営利活動法人：いちえん会
- ・社会福祉法人：九十九会：ときわぎ工舎
- ・金城
- ・いちせい会
- ・マームジャパン株式会社
- ・(澤坂 晋吾・金木 宏幸・井上 静樹・佐藤 ひろみ)
- ・ashinaga プロジェクト

◆◆◆ 令和6年度後援会名簿 ◆◆◆

敬称略、順不同 (令和6年6月1日～令和6年度10月15日)

大久保 武彦	長谷川 政二	マームジャパン株式会社
荒井 ふみ子	梶永 光洋	南関東経営指導協会
小路 広美	榎沢 良彦	インテリアショップ木戸
檜原 中子	新井 正	(株)中善商店
井上 静樹		税理士法人 フロイデ
		(株)フォレスト
		株式会社シズキ

※上記の名簿は令和6年6月1日～令和6年度10月15日までに納入された方で、それ以降、納入された方は記載されていません。
 ※高額のご寄附の場合は、同封の振り込み用紙では取り扱えなくなります。その際は、お手数ですが子山ホームまで連絡を頂きたいと思えます。
 ※後援会名簿にお名前が掲載漏れがありましたら、何卒ご容赦ください。

子山ホームだより 第96号
 発行日：令和6年10月28日
 社会福祉法人
 チルドレンス・パラダイス
 児童養護施設 子山ホーム
 千葉県いすみ市深堀685番地
 TEL 0470-62-2325
 FAX 0470-62-8828
 Eメール info@h-koyama.or.jp
 http://www.h-koyama.or.jp/

▲▼ 編集後記 ▲▼

今回の第96号は、どうでしたか？
 夏休みの行事報告が盛りだくさんで、子どもたちの楽しい様子が伝わったことと思います。
 ホームではこの夏、寄付で頂いたLEGOブロックにハマる子が多数いました。が、車のハンドルが一つしかなく、いつも些細なトラブルが・・・。
 相談の上、6個ほど購入して、これでみんな仲良く遊べると思いきや・・・
 こんどは、「一台にハンドル4個もつけてるー!!」と、一難去ってまた一難(笑)
 賑やかな子山ホームです！
 それでも、日に日に上手に作る車や動物には感嘆です。次号では、その作品をいくつか紹介したいと思えます。お楽しみに!!

保育士 浅井 美和

※今後「子山ホームだより」の送付は遠慮したいという方がいらっしゃいましたら、遠慮なく子山ホームまでご連絡ください。